

平成28年度補正予算について

法務省

I 災害復旧・災害対応の強化	19,496百万円
-----------------------	------------------

・ 法務省施設の防災・減災対策の強化	19,496百万円
--------------------	-----------

法務省施設の耐震化のための建替え, 改修等による防災・減災対策強化
矯正施設等の環境整備による防災拠点・避難所としての機能強化

II 円滑かつ厳格な出入国管理体制の整備	4,098百万円
-----------------------------	-----------------

・ 観光先進国に向けた出入国審査体制の強化	
-----------------------	--

上陸審査場における個人識別情報の取得迅速化	1,636百万円
-----------------------	----------

空海港における出入国審査体制の整備	1,279百万円
-------------------	----------

テロ対策強化のための偽変造文書鑑識機器の整備等	1,183百万円
-------------------------	----------

III 安全・安心な社会の実現	2,451百万円
------------------------	-----------------

・ 治安確保に向けたテロ・保安対策等の強化	
-----------------------	--

矯正施設における保安警備体制の強化	1,680百万円
-------------------	----------

テロ関連情報の収集・分析体制の充実	368百万円
-------------------	--------

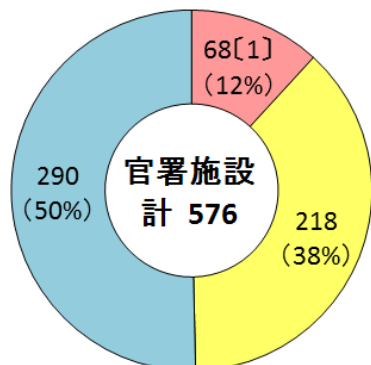
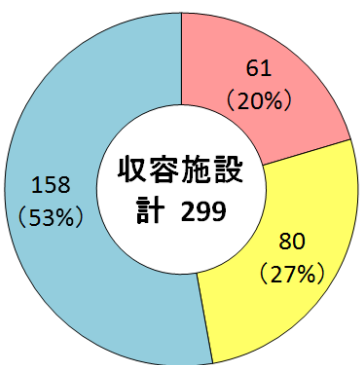
サイバー攻撃に対応可能なサイバーセキュリティの確保等	403百万円
----------------------------	--------

総 額 26,045百万円

I 災害復旧・災害対応の強化

19,496百万円

① 矯正施設を始めとする法務省施設の現状及び課題



- 昭和46年以前築 (旧耐震基準改定前の施設)
- 昭和47～56年築 (現行の耐震基準制定前の施設)
- 昭和57年以降築 (現行の耐震基準制定後の施設)

(注) [] 書きは仮庁舎建設済の施設数を示す

多発する
自然災害

耐震性能
の不足

深刻な
老朽化



大規模震災時に
倒壊・崩壊のおそれ

被収容者の
暴動・逃走

職員・家族・近隣住民の
身体・生命の被害

② 対策

建て替え

庁舎整備



刑務所ほか

宿舍整備



拘留所ほか

改修・修繕

熊本地震からの復旧



防災拠点・避難所の
機能強化のための改修等



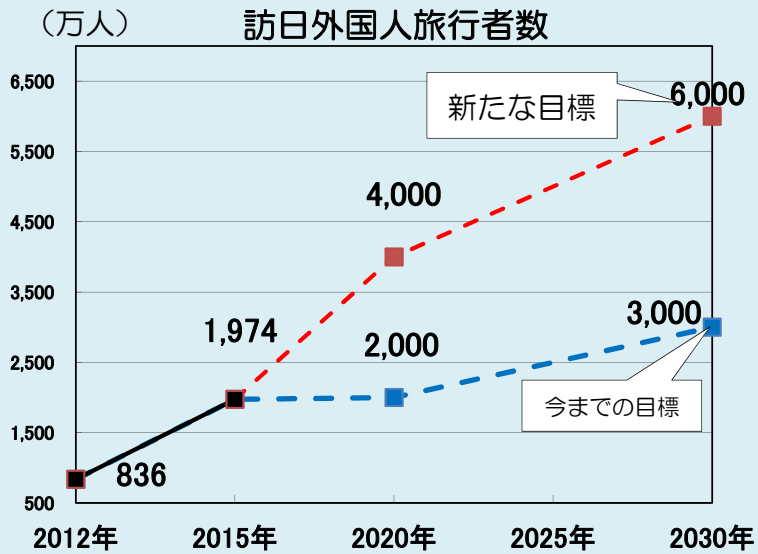
損壊・劣化からの
機能回復のための改修等



Ⅱ 円滑かつ厳格な出入国管理体制の整備

4,098百万円

明日の日本を支える観光ビジョン



課題

○訪日外国人旅行者数 2020年 4,000万人
2030年 6,000万人 を目指す

世界初の出入国審査パッケージの導入や世界最高水準の技術を活用し、20分以内の目標を目指すことなどを踏まえ、革新的な出入国審査を実現

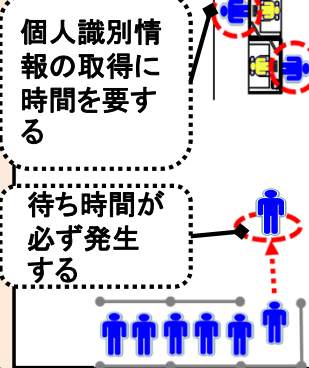
○平成27年1月 シリアにおける邦人殺害テロ事件の発生
平成28年7月 バングラデシュにおけるテロ事案の発生 等

テロリスト等の入国阻止のため厳格な出入国管理を維持

- ・日本人の出帰国手続における顔認証技術の導入に向けたシステム開発(2年計画1年目)
- ・上陸審査場における個人識別情報の取得迅速化
- ・急増する外国人クルーズ船旅客の上陸審査に必要な審査端末機器の整備
- ・空港における出入国審査体制の整備
審査ブースの増設及び審査端末機器の配備等

- ・テロ対策強化のための偽変造文書鑑識機器の整備等

現状



バイオカード導入後



【文書鑑識】



矯正施設における保安警備体制の強化

総合警備システムの更新整備



経年劣化等による不具合により、監視画像の停止や防犯線の誤作動が多発
保安警備力が低下

老朽化が著しい施設の更新整備

- ・画像監視システム
- ・居室、工場、外塀等監視カメラ
- ・自動警報装置(防犯線)

構内多機能無線システムの更新整備

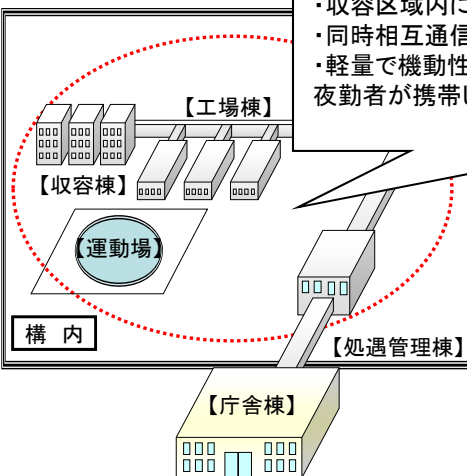
構内多機能無線システム

- ・収容区域内における常態的な連絡手段
- ・同時相互通信が可能
- ・軽量で機動性に優れ、工場、収容棟勤務者、夜勤者が携帯して使用



機器の劣化による通話不能が頻発
交換部品の生産終了に伴い修理が困難
バッテリー消耗が激しく、長時間使用が困難

機能低下が著しい施設の更新整備

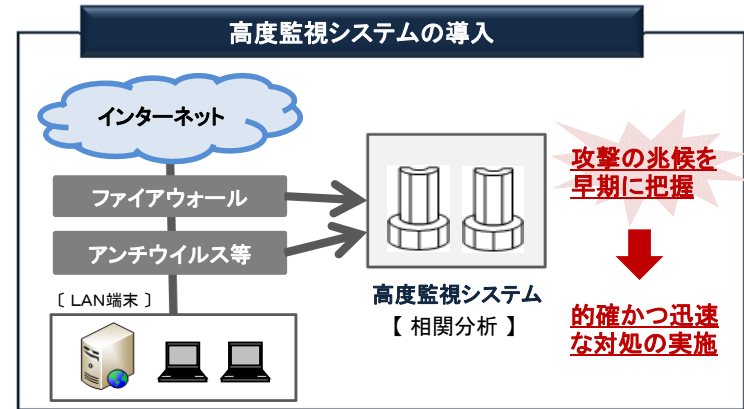


国際テロ・サイバー攻撃対策の強化

サイバーセキュリティ対策

◆ 政府機関等を標的とした攻撃の増加、巧妙化

◇ 法務本省内LANに高度監視システムを導入し、事態の早期把握及び被害の発生・拡大を防止



犯罪解明のための捜査能力の強化等

情報通信技術の飛躍的発達と普及

◆ 電磁的記録媒体等の保全・解析(デジタルフォレンジック)に必要な体制の整備が急務

◇ サイバー犯罪の対応能力(デジタルフォレンジック)向上に資する機材等の整備



公安調査庁におけるテロ対策の強化

- ・フランス、ベルギー、バングラデシュ等において、国際テロ組織による重大テロ事案が相次いで発生
- ・国際テロ組織の主義・主張に感化され、過激化した者(ホームグロウン・テロリスト)によるテロも各地で発生

・国際テロ等の未然防止に向け、公安調査庁における対外情報収集機能等を強化して、テロ関連情報の収集・分析体制を充実強化

